



# TOPICS | まちの話題

## 4月29日～5月8日 天文台「きたすばる」グランドオープン記念イベント

**市**立天文台「きたすばる」に北海道大学により主鏡1.6mの大型望遠鏡が設置され、4月29日から一般公開。グランドオープンした館内は多くの天体ファンでにぎわい、夕方からは土星を観望することができました。記念イベントとして、日本フィルハーモニー交響楽団によるコンサートが初日に天文台で、翌日にはサンピラー交流館で行われ多くの人が訪れ、弦楽四重奏の調べに魅了されました。

このほか、道立サンピラーパークを中心に5月8日まで多彩な催しが連日繰り広げられました。道北各地のおいしい地場産品が集結した「来た！来た！北のマルシェ」、子ども、家族向けにミニエクスプレス、ラジコンヘリコプター飛行ショー、ペットボトルロケット体験、太陽系ラリー、消防ランド、働く自動車の展示など。

また、名寄大学の学生による吹奏楽や大道芸、人形劇などの催しのほか各種演舞なども披露されました。期間中、サンピラーパークの施設全体で1万5千人の来場がありました。



◀ミニSL運行

働く車両展示ブース▶



◀来た！来た！北のマルシェ

バルーンアートショー▶



## 5/15、24 災害に備えて消防訓練

**名**寄市を震源とした地震が発生したという想定で春季消防訓練が総合福祉センターで行われました。

サイレンが鳴り署員・団員らが消防自動車に乗って集まり、迅速に救助活動を行ったのち、一斉放水が行われました。終了後にはドクターヘリの公開展示が行われ、訪れた子ども達はヘリに搭乗し、内部を見学しました。

24日には女性消防団員による避難訓練がつぼみ保育所で行われ、終了後には消火器を使った消火訓練と防火紙しばいが行われました。



◀一斉放水



◀水消火器を使って消火訓練

▼ドクターヘリの公開展示



## 5/11 復興への思いを寄せ書きに

**震** 災で大きな被害を受けた岩手県山田町に、市内全小中学校の生徒、児童らによる、60cm×100cmの白い布に激励のメッセージの寄せ書き。

代表して名寄東中学校の3年中枝建郎さんと名寄小学校6年市川夢さんが加藤市長に30枚の寄せ書きを手渡しました。

このほか名寄高校、光名幼稚園、名寄カトリック幼稚園の寄せ書きとあわせて、13日に加藤市長が山田町を訪れ、復興に寄せる思いを届けてきました。



## 被災地、南相馬市に市職員6人を派遣

**名** 寄市と杉並区とは、防災相互援助協定を締結しており、今回の東日本大震災の復興に向け、自治体間が連携し支援の輪を広げることを目的に杉並区と同協定を結ぶ群馬県東吾妻町、新潟県小千谷市と本市の4市区町と被災地である福島県南相馬市が「自治体スクラム支援会議」を4月8日に設置。5月15日の同会議に首長が出席し、支援内容を協議。

南相馬市からの要請を受け、5月22日から6月13日までの間、本市職員を2人ずつ3班に分けて6人派遣することを決定しました。



▲5月20日の職員派遣激励会（名寄庁舎）

## 5/17 風連国保診療所・ふうれん健康センター開設式

**5** 月2日から新しい施設で業務を開始している風連国民健康保険診療所とふうれん健康センターの開設式が同診療所の正面で行われました。

式では、加藤市長のあいさつ、黒井徹市議会議長の祝辞の後、加藤市長、黒井議長、松田好人診療所所長、野本征清名寄市風連地区連絡協議会会長、佐藤きみ子名寄市保健推進委員協議会会長の5人によりテープカットが行われました。

